



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 キッセイ薬品工業株式会社
コード番号 4547 URL <http://www.kissei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 神澤 陸雄

問合せ先責任者 (役職名) 財務管理部長

(氏名) 北原 孝秀

TEL 0263-25-9081

四半期報告書提出予定日 平成26年11月10日

配当支払開始予定日

平成26年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	34,610	8.4	5,305	9.5	6,439	13.4	4,504	19.2
26年3月期第2四半期	31,919	8.9	4,843	33.4	5,680	40.3	3,780	108.0

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 8,539百万円 (279.2%) 26年3月期第2四半期 2,251百万円 (△5.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	87.51	—
26年3月期第2四半期	73.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	178,996	149,919	83.6	2,907.70
26年3月期	172,649	142,821	82.6	2,770.32

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 149,660百万円 26年3月期 142,590百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
27年3月期	—	21.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	68,700	△2.4	9,400	△23.6	10,900	△19.5	7,740	△14.9	150.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	56,911,185 株	26年3月期	56,911,185 株
27年3月期2Q	5,440,837 株	26年3月期	5,440,603 株
27年3月期2Q	51,470,498 株	26年3月期2Q	51,471,609 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件その他に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
4. 補足情報	12
(1) 販売実績	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における医薬品業界は、後発品使用促進策等の医療費抑制策の進展に加え、本年4月に実施されました薬価改定におきまして、新薬創出・適応外薬解消等促進加算の試行的導入が継続される一方で、後発品への置き換えが進まない長期収載医薬品への特例引き下げが実施されるなど、引き続き厳しい経営環境のもとに推移しております。また、情報サービス業界、物品販売業界、建設業界におきましては、企業におけるIT投資及び設備投資意欲に持ち直し感が見られるものの、足元の景気は個人消費を中心に回復の足取りが鈍く、依然として厳しい競争環境下にありました。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	増減率 (%)
売上高 (百万円)	31,919	34,610	8.4
営業利益 (百万円)	4,843	5,305	9.5
経常利益 (百万円)	5,680	6,439	13.4
四半期純利益 (百万円)	3,780	4,504	19.2

医薬品事業の売上高は、299億3千6百万円（前年同期比5.5%増）となりました。糖尿病治療薬「グルベス®配合錠」、前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬「ユリーフ®錠」、腎性貧血治療薬「エポエチンアルファBS注JCR」をはじめとする新製品の育成に注力するとともに、既存の製商品につきましても積極的な医薬情報活動を推進いたしましたほか、研究開発テーマの導出に係る契約金などの技術料売上並びに輸出売上が増加いたしましたことなどにより増収となりました。なお、アントラサイクリン系抗悪性腫瘍剤の血管外漏出治療薬「サビーン®点滴静注用」を本年4月17日に新発売いたしました。さらに、昨年7月に承認申請いたしました口腔乾燥症状改善薬「サラジェン®顆粒」（剤形追加）につきましても、本年8月に製造販売承認を取得いたしましたことから新発売に向けた準備を進めております。また、前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬シロドシン（一般名、日本製品名ユリーフ）の北米・中南米における技術導出先でありますアクタビス社（アメリカ）及び欧州・中東・アフリカなどにおける技術導出先でありますレコルダッチ社（イタリア）では、当連結累計期間におきましても引き続きそれぞれの許諾地域内において製品育成ならびに発売に向けた準備を進めておりますほか、他の技術導出先各社におきましても製品育成が図られております。

その他の事業の売上高は、46億7千3百万円（前年同期比31.7%増）となりました。物品販売業で減収となりましたものの、情報サービス業、建設請負業におきましては増収となりました。

利益面では、研究開発費を主に販売費及び一般管理費が増加いたしましたものの、増収による増益要因などにより、営業利益、経常利益及び四半期純利益は増益となりました。

研究開発の状況につきましては、本年5月に呼吸促進剤「ドプラム®注射液」につきましても未熟児無呼吸発作を効能追加する承認申請を公知申請にて、本年6月にはユリーフの剤形追加（口腔内崩壊錠）の承認申請をそれぞれ行いました。また、透析時高リン血症治療薬PA21（開発番号）につきましては第Ⅲ相臨床試験を実施するとともに、承認申請に向けた準備を開始いたしましたほか、各テーマにつきましても引き続き研究開発を推進し、開発段階のステージアップを図っております。なお、杏林製薬株式会社との間で共同開発（第Ⅰ相臨床試験）を進めてまいりました過活動膀胱治療薬KEA-0447（開発番号）は、開発中止を決定いたしました。

このほか、昨年12月にファイザー社（アメリカ）に対しまして日本を除く全世界における独占的開発及び販売権を許諾いたしました当社創製品であります痛風・高尿酸血症治療薬KUX-1151（開発番号）につきましては、本年7月よりアメリカにて臨床試験が開始されております。

(2) 財政状態に関する説明

1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は1,789億9千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ63億4千7百万円増加しました。流動資産は受取手形及び売掛金、繰延税金資産などが減少しましたが、現金及び預金、たな卸資産が増加したことなどにより、14億1千3百万円増加し1,023億8百万円となりました。固定資産は投資有価証券の増加などにより、49億3千3百万円増加し766億8千7百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債は290億7千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億5千万円減少しました。流動負債は、支払手形及び買掛金、「その他」に含まれる未払金が増加しましたが、未払法人税等が減少したことなどにより、4億2千8百万円減少し174億5千万円となりました。固定負債は繰延税金負債が増

加しましたが、退職給付に係る負債が減少したことなどにより3億2千2百万円減少し、116億2千6百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は1,499億1千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ70億9千8百万円増加しました。主な要因は利益剰余金が増加したことによります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の82.6%から83.6%となりました。

2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より6億8千6百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末では589億5千1百万円（前連結会計年度末比1.2%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、税金等調整前四半期純利益の増加およびその他流動負債の増加などの資金の増加要因がありましたが、売上債権の増減額の減少および法人税等の支払額の増加などの資金の減少要因により、前年同四半期に比べ24億6百万円減の40億3千9百万円となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、有形固定資産の取得による支出が減少しましたが、投資有価証券の売却による収入が減少したことにより、前年同四半期に比べ8億2千8百万円支出増の24億8千万円の支出となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期に比べ5千1百万円支出減の10億7千万円の支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

医薬品業界におきましては、後発品使用促進策等の医療費抑制策の影響を受け、引き続き厳しい経営環境下にあります。また、その他の事業におきましても、景気回復への足取りが鈍く依然として厳しい業界環境が継続するものと予想されます。このような情勢の中で当グループは、グループ各社のシナジー創出によりグループ経営基盤を強化するとともに、これまでの研究開発などへの投資を成果へと結実させ、収益性の改善に取り組んでまいります。現時点での平成27年3月期の連結業績見通しにつきましては、以下のとおりです。

連結業績見通し

	26年3月期実績	27年3月期見通し	対前期増減額	増減率(%)
売上高(百万円)	70,399	68,700	△1,699	△2.4
営業利益(百万円)	12,301	9,400	△2,901	△23.6
経常利益(百万円)	13,541	10,900	△2,641	△19.5
当期純利益(百万円)	9,093	7,740	△1,353	△14.9

・売上高

当初見通しより15億円増額の687億円（前年度比2.4%減収）に修正いたします。

第2四半期連結累計期間の業績ならびに現況を加味した見直しを行いました結果、医薬品事業におきまして5億円、その他の事業におきまして10億円それぞれ増額の計画といたしました。医薬品事業では主として国内医薬品事業について、その他の事業では主として建設請負業について売上を見直したことによります。

・利益

第2四半期連結累計期間におきましては、医薬品事業における売上高が当初計画を上回りましたこと、販売費及び一般管理費が当初計画を下回りましたことに加え、営業外収益にて有価証券評価益を計上いたしましたことなどにより、営業利益、経常利益及び四半期純利益が当初見通しを上回りました。一方、通期では売上原価率の上昇、年度後半における販売費及び一般管理費のほぼ当初計画通りの費消を見込んでおります。

年度の売上高を増額修正いたしますとともに、売上原価、販売費及び一般管理費を見直しましたことなどから、通期の利益見通しにつきましては、営業利益は当初見通しより16億円増額の94億円（前年度比23.6%減益）、経常利益は当初見通しより22億円増額の109億円（前年度比19.5%減益）、当期純利益は当初見通しより16億4千万円増額の77億4千万円（前年度比14.9%減益）の見通しであります。なお、年度後半の営業外損益ならびに特別損益におきましては、特別なものは見込んでおりません。

(参考) 個別業績見通し

	26年3月期実績	27年3月期見通し	対前期増減額	増減率(%)
売上高(百万円)	61,090	59,000	△2,090	△3.4
営業利益(百万円)	11,649	8,800	△2,849	△24.5
経常利益(百万円)	12,908	10,350	△2,558	△19.8
当期純利益(百万円)	8,729	7,400	△1,329	△15.2

・1株当たり当期純利益予想は、143円77銭であります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を平均残存勤務期間に対応する単一年数の国債利回りを基礎として決定する方法から、退職給付の支払見込期間ごとに設定された複数の国債利回りを基礎として決定する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が637百万円増加し、利益剰余金が407百万円減少しております。なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,266	31,950
受取手形及び売掛金	23,711	23,150
有価証券	27,048	27,049
商品及び製品	5,318	5,780
仕掛品	688	991
原材料及び貯蔵品	6,806	6,906
繰延税金資産	2,354	2,151
その他	3,701	4,330
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	100,894	102,308
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	38,480	38,671
減価償却累計額	△26,937	△27,372
建物及び構築物 (純額)	11,542	11,298
土地	13,069	13,055
建設仮勘定	—	279
その他	14,815	14,244
減価償却累計額	△12,467	△11,898
その他 (純額)	2,347	2,346
有形固定資産合計	26,960	26,979
無形固定資産	692	781
投資その他の資産		
投資有価証券	41,669	46,805
繰延税金資産	566	439
その他	1,919	1,735
貸倒引当金	△52	△52
投資その他の資産合計	44,102	48,927
固定資産合計	71,754	76,687
資産合計	172,649	178,996

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,390	5,953
短期借入金	1,871	1,825
未払法人税等	3,231	1,776
賞与引当金	2,620	2,265
その他の引当金	558	535
その他	4,207	5,093
流動負債合計	17,879	17,450
固定負債		
長期借入金	1,409	1,445
繰延税金負債	3,817	5,713
役員退職慰労引当金	132	106
退職給付に係る負債	5,796	3,673
資産除去債務	106	107
その他	687	581
固定負債合計	11,948	11,626
負債合計	29,828	29,077
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,356	24,356
資本剰余金	24,254	24,254
利益剰余金	90,918	93,985
自己株式	△8,684	△8,685
株主資本合計	130,844	133,911
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,724	15,162
退職給付に係る調整累計額	△978	586
その他の包括利益累計額合計	11,745	15,748
少数株主持分	231	259
純資産合計	142,821	149,919
負債純資産合計	172,649	178,996

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	31,919	34,610
売上原価	10,335	11,640
売上総利益	21,583	22,969
返品調整引当金戻入額	14	13
返品調整引当金繰入額	11	19
差引売上総利益	21,586	22,963
販売費及び一般管理費	16,742	17,658
営業利益	4,843	5,305
営業外収益		
受取利息	37	37
受取配当金	451	423
有価証券評価益	281	438
その他	106	254
営業外収益合計	876	1,153
営業外費用		
支払利息	19	17
有価証券売却損	6	—
為替差損	10	—
その他	3	2
営業外費用合計	40	19
経常利益	5,680	6,439
特別利益		
固定資産売却益	—	11
投資有価証券売却益	0	6
特別利益合計	0	17
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産処分損	7	18
減損損失	78	—
特別損失合計	85	19
税金等調整前四半期純利益	5,594	6,437
法人税、住民税及び事業税	1,812	1,666
法人税等調整額	△6	260
法人税等合計	1,806	1,926
少数株主損益調整前四半期純利益	3,788	4,511
少数株主利益	7	7
四半期純利益	3,780	4,504

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,788	4,511
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,536	2,438
退職給付に係る調整額	—	1,590
その他の包括利益合計	△1,536	4,028
四半期包括利益	2,251	8,539
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,243	8,507
少数株主に係る四半期包括利益	7	32

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,594	6,437
減価償却費	1,013	1,062
引当金の増減額 (△は減少)	73	△404
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	△299
減損損失	78	—
受取利息及び受取配当金	△488	△461
支払利息	19	17
為替差損益 (△は益)	0	△198
有価証券売却損益 (△は益)	6	—
有価証券評価損益 (△は益)	△281	△438
固定資産売却損益 (△は益)	—	△11
固定資産処分損益 (△は益)	7	19
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	△6
売上債権の増減額 (△は増加)	3,305	571
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,308	△864
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△586	△207
仕入債務の増減額 (△は減少)	349	563
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	195	1,153
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	5	△83
その他	△70	3
小計	7,913	6,854
利息及び配当金の受取額	461	429
利息の支払額	△19	△17
法人税等の支払額	△1,909	△3,227
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,446	4,039
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△41	△38
定期預金の払戻による収入	43	40
特定金銭信託の払戻による収入	43	47
有価証券の売却及び償還による収入	283	—
有形固定資産の取得による支出	△1,221	△1,087
有形固定資産の売却による収入	4	29
無形固定資産の取得による支出	△52	△241
投資有価証券の取得による支出	△1,361	△1,410
投資有価証券の売却及び償還による収入	688	55
貸付けによる支出	△69	△71
貸付金の回収による収入	72	68
長期前払費用の取得による支出	△3	△5
その他	△37	133
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,651	△2,480

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100	—
短期借入金の返済による支出	△150	△30
長期借入れによる収入	—	100
長期借入金の返済による支出	△75	△79
リース債務の返済による支出	△17	△31
自己株式の取得による支出	△1	△0
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△977	△1,029
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,122	△1,070
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	198
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,671	686
現金及び現金同等物の期首残高	50,951	58,265
現金及び現金同等物の四半期末残高	54,623	58,951

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他(注)	合計
	医薬品	計		
売上高				
外部顧客への売上高	28,371	28,371	3,548	31,919
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	3,453	3,453
計	28,371	28,371	7,002	35,373
セグメント利益	4,592	4,592	282	4,875

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報サービス業、物品販売業及び建設請負業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	4,592
「その他」の区分の利益	282
セグメント間取引消去	29
固定資産の調整額	△60
その他の調整額	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	4,843

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他(注)	合計
	医薬品	計		
売上高				
外部顧客への売上高	29,936	29,936	4,673	34,610
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	2,559	2,559
計	29,936	29,936	7,232	37,169
セグメント利益	5,013	5,013	275	5,289

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報サービス業、物品販売業及び建設請負業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	5,013
「その他」の区分の利益	275
セグメント間取引消去	31
固定資産の調整額	△5
その他の調整額	△10
四半期連結損益計算書の営業利益	5,305

4. 補足情報

(1) 販売実績

当連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

区分	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
医薬品事業						
その他代謝用薬	5,605	17.6	6,109	17.6	503	9.0
神経系用薬	126	0.4	114	0.3	△11	△9.5
感覚器官用薬	833	2.6	873	2.5	39	4.7
循環器官用薬	3,462	10.8	2,726	7.9	△736	△21.3
消化器官用薬	1,530	4.8	1,444	4.2	△85	△5.6
ホルモン・泌尿生殖・ 血液体液用薬	9,639	30.2	9,549	27.6	△90	△0.9
アレルギー用薬	814	2.6	714	2.1	△99	△12.3
その他	6,358	19.9	8,405	24.3	2,046	32.2
報告セグメント計	28,371	88.9	29,936	86.5	1,565	5.5
その他の事業	3,548	11.1	4,673	13.5	1,124	31.7
合計	31,919	100.0	34,610	100.0	2,690	8.4
(うち輸出高)	(1,940)	(6.1)	(4,035)	(11.7)	(2,095)	(108.0)

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。